

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月26日更新

事務事業名	指定文化財保存・管理事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会事務局	課長名 牧野 淳一
	施策	13 歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成	所属課	生涯学習課	担当者名 米村 大
	施策の柱	46 歴史・伝統文化(文化財を含む)の保護と継承	所属班	生涯学習班	(内線) 1512
予算科目	会計一般	款 10 項 5 目 7 事業連番 10915 根拠法令	文化財保護法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	文化財の適正な保存・管理を委託することで、文化財を保護し、市民に郷土史学習の場を提供した。開始年度は不明。文化財の中には、放置しておくで破損・消滅・散逸が懸念されるものもある。その危険性の高い文化財について、保護・活用を促進するために地元区等に清掃管理等を委託することとなった。新たに管理が必要となる文化財も認められ、徐々にではあるが経年とともに委託件数が増加している。主な内容は、整備業務や修繕業務であった。また、埋蔵文化財の把握、周知により遺跡の保護および開発事業との調整を図った。遺跡内での開発事業等による埋蔵文化財の棄損・消失を防ぎ、保護するために開始された。開発事業の件数増加に伴い、包蔵地確認調査業務として重機掘削委託料を計上した。
【業務の流れ】	・管理委託先の選定→委託契約→管理状況確認→管理報告書の確認→管理委託料の支払 ・古くなった標柱の立替、説明看板の設置 ・包蔵地の事前調査で使用する重機掘削の委託 ・熊本県市町村文化財担当者連絡協議会等負担金
【主な予算費目】	報酬、職 hands 手当等、旅費、需用費(消耗品費)、役務費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	管理を地域に委託することにより、地域住民の文化財に対する愛護精神とボランティア精神が育まれている。近年、文化財管理が高齢化や後継者不足により難しくなっている地域があり、市への管理などの要望が上がっている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	・文化財管理を委託した(二子山石器製作遺跡【シルバー人材センター】、黒松古墳群・合志義塾跡駐車場【黒松区】、虚空蔵さん【上庄区】、豊岡宮本横穴群【上庄区】、医音寺跡【上町老人会】、生坪塚山古墳【生坪区】、笹塚古墳【所有者】)・包蔵地確認調査を行った。・荻迫横穴群報告書を作成し関係機関に発送した。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 文化財管理を委託する予定。また、腐食している説明看板・標柱の立替。指定予定の文化財と整備・保存。各種協議会での情報交換、研修への参加。国泰寺跡発掘調査報告書の刊行及び八反原遺跡発掘調査概要報告書の作成。寺社仏神調査の実施。文化財保存活用地域計画の作成準備。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 ア: 管理を委託している文化財の件数 イ: 整備・修繕した文化財の件数	予算の主な増減の理由 国泰寺発掘調査委託業務が完了したことによる減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市内の文化財	(単位) 件 ア: 市内の文化財の件数 イ:	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 件 ア: 市内の文化財の件数 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 適正に管理されている	(単位) % ア: 指定文化財のうち適正に管理できたものの割合 イ:	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % ア: 指定文化財のうち適正に管理できたものの割合 イ:
*③成果指標設定の理由と4年度目標値設定の根拠 文化財は、歴史や文化等の正しい理解のために不可欠なものである。その保存及び活用を図ることは、文化の向上・発展に極めて重要であることから設定した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度 実績(決算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	5年度 予定	6年度 見込	7年度 見込	
① 活動指標	ア 件	件	7	7	8	8	8	8	8	8	
	イ 件	件	2	2	2	2	2	2	2	2	
② 対象指標	ア 件	件	210	210	210	210	210	210	210	210	
	イ 件	件									
③ 成果指標	ア %	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ %	%									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円		2,262	2,147	1,656				
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円				64	607			
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円	6,014	7,882	7,882	8,212	6,452	6,000	6,000	6,000
		(A) 事業費計	千円	6,014	10,144	10,029	9,932	7,059	6,000	6,000	6,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	5,512	6,624	3,346	7,389	3,346	3,346	3,346	0
人件費	正規職員従事人数	人	5	4	2	4	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	1,391	1,680	840	1,890	840	840	840	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	11,526	16,768	13,375	17,321	10,405	9,346	9,346	6,000		

事務事業名	指定文化財保存・管理事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 指標に対して概ね達成した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

安価な価格で適正な管理がされているといえる。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>開発が増加する中で埋蔵文化財行政を円滑に進めるため体制を強化していく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>文化財収蔵庫 (旧給食センター) の老朽化や埋蔵文化財発掘調査の整理作業場 (土器の洗浄・接合など) が無いことから、今後、大規模な発掘調査が発生した場合に対応できるよう情報を集める。開発が増加する中で埋蔵文化財行政が円滑に進められるように遺跡地図の更新を行う。</p>																						